

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】図書館創立90周年記念事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111(内291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,455 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,455	0	0	0	0	0	0	0	6,455
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県図書館では、令和6年度に創立90周年、令和7年度に新館開館30周年を迎える。令和6年度は、県図書館の第3次運営方針の初年度でもあり（方針対象期間：令和6年度～10年度）、県図書館の在り方、機能やサービスについて情報発信し、広く県民に周知して、図書館の利活用、県民の読書活動推進をはかる好機である。

また、岐阜県は令和6年に全国高等学校総合文化祭及び「清流の国ぎふ」文化祭2024を開催予定であり、郷土資料など県の文化資源に関わる資料を長年にわたり蓄積し、県民の文化活動を支援してきた図書館として、文化を発信し未来へつなぐ文化祭の趣旨と連動した記念事業を展開する。

10年前の80周年にも記念シンポジウム、関連展示、紺野美沙子名誉館長の就任等の事業により、図書館の機能強化と利用促進を行った実績がある。

(2) 事業内容

第3次運営方針において新たに追加する観点（新しい生活様式にあわせた非来館型サービスの推進、DX・AI等の技術を活用したデジタル化と情報発信、読書バリアフリー等）と、県の文化力・創造力を広くPRするための記念シンポジウムを岐阜県ゆかりの著名人を招いて開催する。また、県図書館と県内市町図書館の歩みとこれからの発信する回顧展等、関連事業を年間を通じて実施し、図書館の機能・サービスや、図書館資料を通じた郷土の魅力発信を行うとともに、県立図書館として全県域での図書館サービスの向上と、レベルアップを図る使命を周知する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	45	チラシ・ポスター郵送費45千円
委託料	6,355	業務委託料6,355千円
使用料	55	展示に係る著作物使用料55千円
合計	6,455	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年度文部科学省告示第172号）に基づく岐阜県図書館の基本的運営方針である「第3次岐阜県図書館の運営方針」（令和6年度～令和10年度において、「郷土を知り学ぶ機会の創出事業」の一つとして90周年記念事業の実施を掲げている。

(2) 国・他県の状況

・愛知県図書館は、令和3年度に愛知県における文化芸術の拠点である愛知芸術文化センター（愛知県名古屋市）を構成する施設として、名古屋城の旧城郭内の一角に開館して30周年を迎えた。この30年は県内の公共図書館とともに歩んだ30年であるとして、県内公共図書館の原点を改めて確認するとともに、コロナ禍において大きな変化を迎えつつある公共図書館の今後を考える講演会等の周年事業を実施した。

・山梨県立図書館は令和4年度に新館開館10周年を迎え、著名人による鼎談等のイベントを数多く実施している。

(3) 後年度の財政負担

今回は創立90周年事業実施のための単年度の予算要求である。

(4) 事業主体及びその妥当性

周年事業を機に県内図書館の歩みも振り返り、全県域での図書館の利活用を推進する事業として、中核図書館である県図書館が実施すべき事業である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

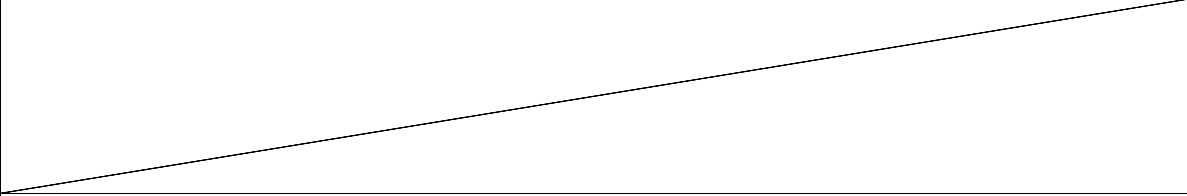
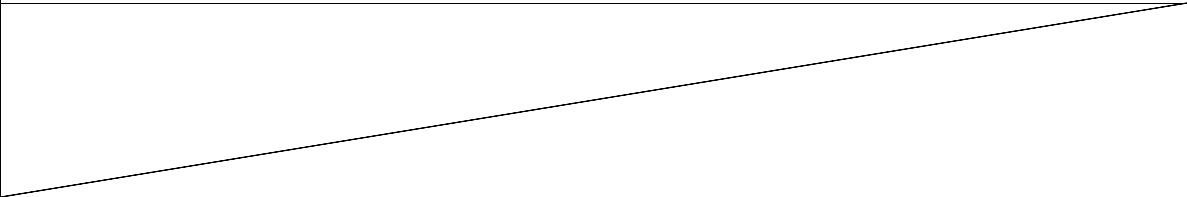
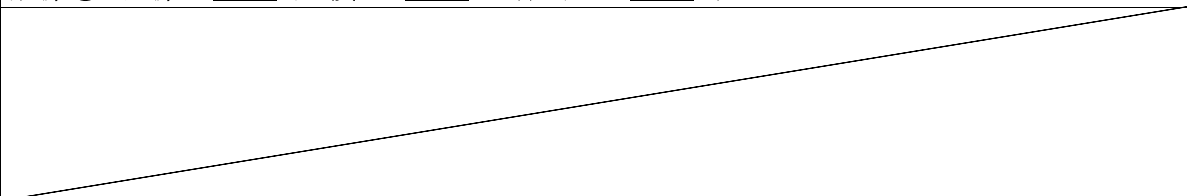
創立90周年事業として、令和6年度の一年間を通じて関連事業を実施し、今後の県図書館・県内図書館の利活用促進に資する。また、県の文化を支える県図書館として全国高等学校総合文化祭及び「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催と連動し、地域の特色を活かした文化の祭典を盛り上げる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R5年度 目標	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
参加者数（シンポジウム・回顧展）	0	0	3,500	0	0	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	90周年と3次運営方針の策定期間初年度、そして全国高等学校総合文化祭及び「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催が重なり、県図書館の機能や、全県域での図書館サービス利活用推進を図る好機である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 通常の図書館業務と並行しながらの記念事業の実施となり、それに係る人員・費用の確保が課題となる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和6年度中に記念事業を行い、90周年事業は年度内に終了となる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】